

令和6年度 公益財団法人岡山県臓器バンク事業実績報告書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

「臓器の移植に関する法律(平成9年法律第104号)」の基本である臓器提供の意思表示について、「臓器提供意思表示カード」の普及や各種媒体を活用した啓発事業に引き続き取り組むとともに、「健康保険証・運転免許証・マイナンバーカード」の意思表示欄への意思の明示について、講演会、広告媒体、イベント等の場で積極的に働きかけた。

また、県からの受託事業である「臓器移植コーディネーター設置事業」及び「いのちのリレーを考える啓発推進事業」を中心に、県など関係団体と連携して制度の普及推進に務めた。

<公益目的事業>

腎臓・心臓・肺・肝臓・膵臓等の移植に関する知識の普及啓発及び臓器提供に係る意思表示カードの普及に関する事業

I 臓器提供の意思表示に係る普及啓発事業

「臓器提供意思表示カード」の普及事業

臓器の移植に関する法律に基づく臓器提供者の確保には、意思表示カードの普及が重要なことから、公的機関や医療機関等を中心に、意思表示カードの配付について協力を依頼した。

また、様々な媒体を通じて、健康保険証等への意思の明示を働きかけるとともに、イベント会場等において、意思表示カードを配布した。

【意思表示カードの主な配付先】

① 成人式	8, 321 枚
② キャンペーン(推進月間等)	4, 100 枚
③ ライオンズクラブ	1, 700 枚
④ その他(病院・学校等)	90 枚
令和6年度合計	14, 211 枚

<参 考>

令和 元 年度合計	17, 422 枚
令和 2 年度合計	8, 150 枚
令和 3 年度合計	7, 055 枚
令和 4 年度合計	9, 965 枚
令和 5 年度合計	10, 695 枚
令和 6 年度合計	14, 211 枚

Ⅱ 普及啓発事業

1 臓器移植普及推進月間を中心に実施した事業

(1) いのちのリレーを考えるオンライン講座(岡山県委託事業)

期 間：令和6年10月1日～31日（臓器移植普及推進月間中）

概 要：移植医療に従事する医療関係者、ドナー家族、移植を受けた方の体験談などを紹介し、移植医療や生命の大切さについて考える契機としてもらった。

◇開講挨拶

「いのちのリレーとは」

（公財）岡山県臓器バンク 理事長 田中 信一郎

◇講演

「いのちをつなぐ現場から～臓器移植医療について知っておいて欲しいこと～」

岡山大学病院 救命救急科 助教 塚原 浩平 先生

◇動画メッセージ

①「臓器移植コーディネーターのお仕事」

（公財）岡山県臓器バンク 臓器移植コーディネーター 安田 和広

②「いのちのバトンを受け取って～移植を受けられた方からのメッセージ～」

井塚 日文 さん

③「いのちのバトンに託す想い

～臓器を提供された方のご家族からのメッセージ～」

三浦 拓 さん

視聴者 約130名

(2) 全国グリーンライトアッププロジェクトへの参加（10月11日～21日）

臓器移植法が施行された10月16日は、家族や大切な人と「移植」や「いのち」のことを話し合い、互いの臓器提供に関する意思を確認する日として「グリーンリボンデー」とされており、県内9カ所を移植医療のシンボルカラーであるグリーンにライトアップし、意識の醸成を図った。

①岡山県庁舎回廊 ②岡山城 ③備中国分寺五重塔

④津山すこやか・こどもセンター ⑤倉敷中央病院 ⑥津山中央病院

⑦しげい病院 ⑧重井医学研究所附属病院 ⑨幸町記念病院

(3) イベント等への参加

①街頭キャンペーン

10月13日に、岡山駅で、岡山県、岡山県腎臓病協議会等と共催でリーフレット等を配布

②JFEフェスタへの参加

11月3日にJFE西日本フェスタに参加し、岡山県腎臓病協議会と共催でリーフレット等を配布

2 新聞による啓発

山陽新聞社の協力により、5月29日付けの山陽新聞紙面に「人生会議の結論の一つとしての臓器提供」と題して、企画記事を掲出した。

3 啓発用チラシの作成・配付

啓発用チラシを作成し、公共施設等へ配置するとともに、医療関係者へ配付を依頼するなど、「臓器提供」の意思表示について幅広く周知を図った。

4 広報誌の発行

9月に「臓器バンクだより第34号」を発行し、関係機関及び賛助会員等関係者に配布した。

5 ホームページによる啓発

臓器移植に対する県民の理解をより深めるため、ホームページをリニューアルし、臓器提供や臓器移植に関係する情報をオンライン講座等により発信し、普及啓発に務めた。

【令和6年度アクセス件数】

5, 161件、 1日平均14件

6 出前講座の開催

県の委託を受けて、県内の中学校、高等学校及び大学等で、合計1, 157人を対象に、延べ12回の臓器移植に係る出前講座を開催した。

III 臓器移植促進事業

1 移植コーディネーター業務の実施

岡山県から「臓器移植コーディネーター設置事業」の委託を受け、県内における移植コーディネーター業務を実施した。

担当者：安田和広 臓器移植コーディネーター

- ・臓器提供協力病院等巡回訪問、連絡調整
- ・医療従事者(学生)及び一般県民への普及啓発

2 (公社)日本臓器移植ネットワークへの参加

会員として、ネットワークとの連携強化に努めるとともに、支部会議等に参加し情報収集に努めた。

IV 管理運営に関する事項

1 理事会・評議員会の開催

【理事会】

(1) 令和6年5月24日

＜決議事項＞

- ・令和5年度事業実績及び収支決算報告の件
- ・理事候補者の選定の件
- ・補欠理事候補者の選定の件
- ・監事候補者の選定の件
- ・補欠評議員候補者の選定の件
- ・評議員会開催の件

(2) 令和6年12月23日（書面による決議）

＜決議事項＞

- ・顧問の選任の件

(3) 令和7年2月14日

＜決議事項＞

- ・令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）の件
- ・評議員会開催の件

【評議員会】

(1) 令和6年6月10日

＜報告事項＞

- ・令和5年度事業実績報告の件

＜決議事項＞

- ・令和5年度収支決算の承認の件
- ・理事の選任の件
- ・補欠理事の選任の件
- ・監事の選任の件
- ・補欠評議員の選任の件

(2) 令和6年12月23日（書面により報告）

＜報告事項＞

- ・顧問の選任について

(3) 令和7年3月3日

＜決議事項＞

- ・令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）の件

2 基本財産の管理

国債・公債で運用した。

○利付き国債第339回（10年） 購入額面7,000万円 利率0.4%

○利付き国債第340回（10年） 購入額面 985万円 利率0.4%

○岡山県令和2年度第2回公募公債（10年）

購入額面1,000万円 利率0.12%

3 活動資金

賛助会員の募集、寄附金の勧誘等に努めた。

4 事務局体制

事務局は、岡山県アイバンクと同室とし、両バンクの職員は相互に業務を兼務して事務の効率化と経費の節減に努めた。

貸 借 対 照 表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預貯金	14,770,902	16,655,517	△ 1,884,615
未収金	415,570	7,675	407,895
流動資産合計	15,186,472	16,663,192	△ 1,476,720
2. 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	89,910,399	89,910,399	0
普通預金	89,601	89,601	0
基本財産合計	90,000,000	90,000,000	0
(2)その他固定資産			
投資有価証券	0	0	0
什器備品	2	2	0
車両運搬具	1	1	0
電話加入権	74,984	74,984	0
その他固定資産合計	74,987	74,987	0
固定資産合計	90,074,987	90,074,987	0
資産合計	105,261,459	106,738,179	△ 1,476,720
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	138,556	154,409	△ 15,853
未払金	0	192,554	△ 192,554
流動負債合計	138,556	346,963	△ 208,407
2. 固定負債			
退職給付引当金	10,832,000	10,440,800	391,200
固定負債合計	10,832,000	10,440,800	391,200
負債合計	10,970,556	10,787,763	182,793
III 正味財産の部			
一般正味財産	94,290,903	95,950,416	△ 1,659,513
(うち基本財産への充当額)	(90,000,000)	(90,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	94,290,903	95,950,416	△ 1,659,513
負債及び正味財産合計	105,261,459	106,738,179	△ 1,476,720

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	331,447	331,400	47
② 受取会費			
賛助会員受取会費	1,483,000	1,498,000	△ 15,000
③ 受取補助金等			
県受託収入	9,299,500	8,534,000	765,500
受取民間助成金(共同募金会)	260,000	180,000	80,000
受取民間助成金(ネットワーク)	1,635,347	1,689,419	△ 54,072
④ 受取寄附金			
受取寄附金	1,175,000	1,169,000	6,000
⑤ 負担金収入			
(公財)アイバンク負担金	111,377	123,192	△ 11,815
⑥ 雑収益			
受取利息	4,015	191	3,824
雑収益	25,000	25,000	0
経常収益計	14,324,686	13,550,202	774,484
(2) 経常費用			
① 事業費	14,633,794	13,773,066	860,728
カード普及費	11,672	8,911	2,761
通信運搬費	11,672	8,911	2,761
需用費	0	0	0
旅費交通費	0	0	0
普及啓発費	5,234,469	4,433,934	800,535
給与手当	2,800,164	2,800,164	0
福利厚生費	481,866	424,366	57,500
通信運搬費	85,959	88,102	△ 2,143
需用費	1,411,243	450,962	960,281
旅費交通費	31,000	102,080	△ 71,080
賃借料	54,237	58,260	△ 4,023
諸謝金	370,000	510,000	△ 140,000
移植促進費	9,387,653	9,330,221	57,432
給与手当	6,373,825	6,244,735	129,090
福利厚生費	1,085,522	998,545	86,977
退職給付費	391,200	360,800	30,400
通信運搬費	51,617	50,747	870
需用費	1,085,569	1,101,230	△ 15,661
旅費交通費	36,720	143,960	△ 107,240
燃料費	141,200	208,204	△ 67,004
賃借料	72,000	72,000	0
減価償却費	0	0	0
負担金支出	150,000	150,000	0
② 管理費	1,350,405	1,479,462	△ 129,057
給与手当	700,027	700,027	0
福利厚生費	99,462	85,096	14,366
会議費	0	0	0
通信運搬費	21,415	28,966	△ 7,551
需用費	311,464	380,282	△ 68,818
旅費交通費	0	0	0
賃借料	154,428	222,684	△ 68,256
諸謝金	27,500	27,500	0
手数料	12,709	14,507	△ 1,798
減価償却費	0	0	0
雑費	23,400	20,400	3,000
経常費用計	15,984,199	15,252,528	731,671
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,659,513	△ 1,702,326	42,813
投資有価証券評価損益等(償還損)	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,659,513	△ 1,702,326	42,813
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,659,513	△ 1,702,326	42,813
一般正味財産期首残高	95,950,416	97,652,742	△ 1,702,326
一般正味財産期末残高	94,290,903	95,950,416	△ 1,659,513
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	94,290,903	95,950,416	△ 1,659,513

令和7年度事業計画

岡山県臓器バンクでは、引き続き、臓器移植法の基本である臓器提供者の意思表示について、「臓器提供意思表示カード」の普及や各種媒体を活用した啓発事業に取り組むとともに、「運転免許証・マイナンバーカード」の意思表示欄への意思の明示について、様々な媒体やイベント等の機会を通じて積極的に働きかける。

また、県からの受託事業である「臓器移植コーディネーター設置事業」及び「いのちのリレーを考える啓発推進事業」を中心に、県など関係団体と連携して制度の普及啓発に務める。

<公益目的事業>

I 臓器提供意思表示に係る普及事業

臓器提供は、善意の意思表示からはじまることから、厚生労働省及び（公社）日本臓器移植ネットワークが推進する「臓器提供意思表示カード」の配布・普及活動や「運転免許証・マイナンバーカード」の意思表示欄への意思の明示の働きかけについて、岡山県と連携し、次のとおり実施する。

- (1) 「臓器提供意思表示カード」を誰もが自由に持ち帰れるよう、下記の場所に、カードの配置・補充等への協力・支援を働きかける。
 - ア 県庁、県民局（地域事務所）、保健所、その他の県事務所
 - イ 市役所、町村役場、保健センター等施設
 - ウ 医療機関（病院、診療所、薬局）
 - エ 赤十字血液センター、献血ルーム
 - オ スーパー、コンビニ、その他事業所等
- (2) 報道機関（テレビ、新聞等）の協力を得て、当バンクの活動をPRするとともに、臓器提供の意思表示について視聴者や購読者に呼びかける。
- (3) 次の行事、イベント等において「臓器提供意思表示カード」を配布する。
 - ア 市町村主催の成人式、健康まつり等のイベント
 - イ 地域、事業所、団体等のイベント
 - ウ 大学、高等学校、看護学校等の学園祭等
 - エ ライオンズクラブ及び当バンク主催のキャンペーン
- (4) 団体の役員又は構成員を対象に「臓器提供意思表示カード」の配布を依頼する。

II 普及啓発事業

腎不全をはじめとする臓器の機能障害や臓器移植の現状を多くの人に知っていたくため、次の普及啓発事業を行う。

- (1) 10月の臓器移植普及推進月間における取組（講座、グリーンライトアッププロジェクト等）
- (2) 高等学校等の若い世代を対象とした出前講座を実施するほか、ライオンズクラブ等の団体が実施するキャンペーン等に併せて臓器移植についての普及啓発を行っていただくよう働きかける。
- (3) 啓発用チラシを作成し、医療機関や各種団体等に対し、配置や配付について協力を依頼する。

- (4) 広報誌「臓器バンクだより」を発行・配布し、臓器移植活動についての普及啓発を行うとともに、ホームページによる啓発を行う。
- (5) 県、市町村、その他団体の広報紙への「啓発記事」掲載を依頼する。
- (6) ライオンズクラブやNPO法人岡山県腎臓病協議会と連携し、臓器移植普及推進月間行事をはじめとするキャンペーン等を実施する。

Ⅲ 臓器移植促進事業

医療機関、(公社)日本臓器移植ネットワーク及び患者団体等との連携を強化し、臓器移植の円滑な促進を図るとともに、岡山県アイバンクとも連携を取りながら、臓器移植への円滑な対応に務める。

- (1) 「岡山県臓器移植コーディネーター設置事業」を岡山県から受託し、臓器移植コーディネーター業務を実施する。
- (2) 臓器移植コーディネーターは、岡山県アイバンクからの委嘱により、提供者の家族に対して臓器提供の説明時に眼球提供の説明をする。
- (3) 相互情報交換、臓器移植ワーキンググループ会議や研修会の開催などにより、移植関係医療機関との連携を密にし、コーディネーター業務の円滑な推進を図る。
- (4) (公社)日本臓器移植ネットワークの会員として、積極的に事業に協力するとともに情報収集に努める。
- (5) NPO法人岡山県腎臓病協議会など患者団体等との連携を深め活動を支援する。
- (6) 臓器提供者及び遺族に感謝し、遺族への精神的な支援を行う。

＜管理運営に関する事項＞

1 賛助会員の確保、拡大等

財源確保を図るため、医療関係団体・ライオンズクラブ・ロータリークラブ・経済関係団体等に賛助会入会等支援の働きかけを行う。

2 基本財産の国債及び地方債(岡山県債)による運用

[令和7年2月1日の運用状況]

- ① 利付き国債(10年)第339回 購入額面 7,000万円 利率0.4%
- ② 利付き国債(10年)第340回 購入額面 985万円 利率0.4%
- ③ 岡山県債(10年)R2公募公債 購入額面 1,000万円 利率0.12%

3 事務局は、岡山県アイバンクと同室とし、両バンクの職員は相互に事務を兼務し、事務の効率化と経費の節減に努める。

収支予算書(案)

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	330	330	0	
② 受取会費				
賛助会員受取会費	2,300	1,500	800	
③ 受取補助金等				
県受託収入	14,318	9,300	5,018	
受取民間助成金	200	170	30	共同募金会
受取民間助成金	700	790	△ 90	日本臓器移植ネットワーク
④ 受取寄附金				
受取寄附金	1,550	400	1,150	
⑤ 負担金収入				
(公財)アイバンク負担金	160	115	45	事務所経費・摘出諸経費
⑥ 雑収益				
受取利息	0	0	0	
雑収益	25	25	0	
経常収益計	19,583	12,630	6,953	
(2) 経常費用				
① 事業費	18,198	13,972	4,226	
カード普及費	70	80	△ 10	
通信運搬費	20	30	△ 10	
需用費	50	50	0	
普及啓発費	4,410	5,070	△ 660	
給与手当	2,800	2,800	0	
福利厚生費	460	460	0	
通信運搬費	100	100	0	
需用費	800	1,360	△ 560	
旅費交通費	50	50	0	
賃借料	100	200	△ 100	
諸謝金	100	100	0	
移植促進費	13,718	8,822	4,896	
給与手当	10,260	6,250	4,010	
福利厚生費	1,700	1,030	670	
退職給付費	576	360	216	
通信運搬費	60	60	0	
需用費	600	600	0	
旅費交通費	150	150	0	
燃料費	150	150	0	
賃借料	72	72	0	駐車場
減価償却費	0	0	0	
負担金支出	150	150	0	日本臓器移植ネットワーク
② 管理費	1,385	1,395	△ 10	
給与手当	700	700	0	
福利厚生費	115	115	0	
会議費	10	10	0	
通信運搬費	50	50	0	
需用費	250	250	0	
旅費交通費	30	40	△ 10	
賃借料	155	155	0	事務所・コピー機
諸謝金	30	30	0	税理士
手数料	20	20	0	
雑費	25	25	0	
経常費用計	19,583	15,367	4,216	
当期経常増減額	0	△ 2,737	2,737	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	△ 2,737	2,737	
一般正味財産期首残高	95,950	97,652	△ 1,702	
一般正味財産期末残高	95,950	94,915	1,035	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	95,950	94,915	1,035	